

# 柱状採泥器 MW-MCS

海底や湖底の表層堆積物を攪乱の少ない状態で採取することができる採泥器です。

採泥器本体は、採泥器ヘッドに採泥管を取り付けた構成です。

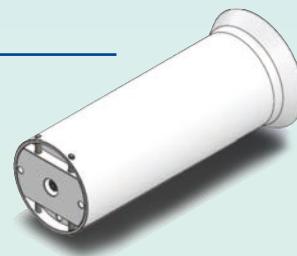
採泥器ヘッドのグリップ部をマニュピュレータなどでつかみ、本品を堆積物の表層に貫入させ採泥を行います。使用時は、採泥器ヘッドのバネの強さを調整（ナットを回わす）し、採泥時に管内の水が排出される逆止弁の強さを調整ください。採泥時は、逆止弁が開き海水が排出されるとともに堆積物を採取し、引き抜き時は逆止弁が閉じることで、堆積物の脱落を防ぎます。採泥後、採泥器ホルダーに採泥器本体を収納し、揚収します。



内径54mmと70mmの2種類をラインナップ

採泥器ホルダー

底板とともにゴム栓を取り外し可能です。



採泥器  
本体

重さ : 約1kg(採泥器本体)

全長 : 670 (mm) (採泥器本体)

採泥管寸法 : 内径70 (mm)×500 (mm)、内径54 (mm)×500 (mm)

採泥器ホルダ長さ : 250 (mm)

採泥管材質 : アクリル

グリップ部材質 : ウレタン

## 標準仕様

- ・オプションについては裏面をご確認ください。
- ・採泥管、採泥管ホルダーの長さはご要望に応じて変更可能です。ご相談ください。

## 注意事項

- ・本品は、採泥時の衝撃で採泥管が割れることもあります。使用の際は十分ご注意ください。



## オプション

## 採泥管長さ

標準仕様は500mmですが、300mm、1000mmの製作実績があります。



## 穴あけ加工

採泥管の深さ方向に沿ってご指定のサイズの穴あけ加工をいたします。横穴より試料採取が可能です。



## 事例

## 湖沼での底泥採取に対応したカスタマイズ

手漕ぎボートでの使用を想定し、ハンドオーガー（人力のボーリング器）に柱状採泥器ヘッドを取り付けられるよう設計、加工を行いました。現場での試料採取にご使用いただき、無事採取できたとのお声をいただいております。



ヘッド部にハンドオーガーのロッドに直接取り付け可能な接手に加工



湖沼でのボートによる採泥作業の様子



採取した試料の様子

## 水中ドローンでの採泥に対応

採泥管の内径54mmタイプの柱状採泥器を水中ドローンのロボットアームに装着できるよう加工しました。採取場所を予めカメラ映像で確認し、狙った地点の採泥が可能です。砂混じりの底質にはグラブ型もご用意しております。



ロボットアームに柱状採泥器を装着



採泥中の様子



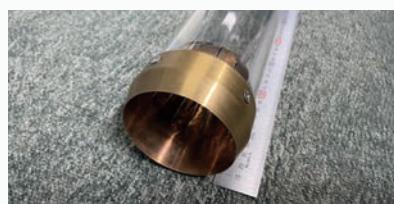
採泥完了の様子

## キャッチャー付き柱状採泥器

先端にキャッチャー付き金属ピットを装着し、砂混じりの底質など挿入困難な場所では強い力で差し込む際に効果を発揮します。キャッチャーにより試料のこぼれ落ちも軽減されます。



キャッチャー付き柱状採泥器



金属製ピット